

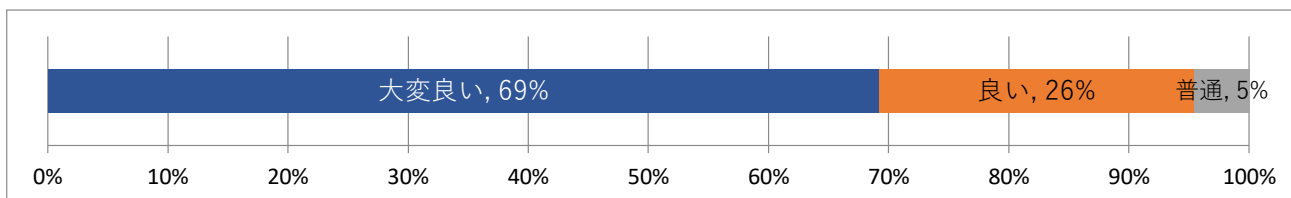
令和2年度介護実習センター 県民研修受講者調査 専門職研修

【調査概要】

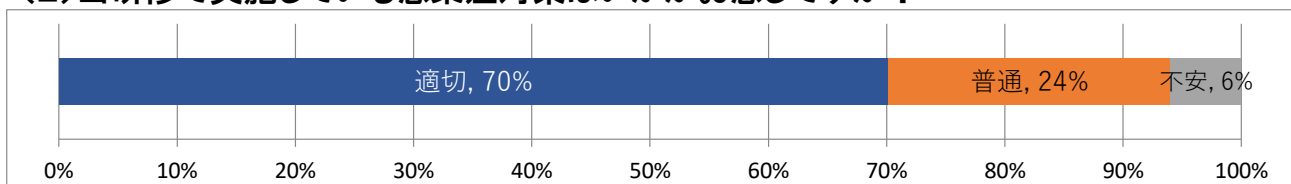
	講座内容調査		感染症対策調査
調査期間	7月～3月末日まで		12月～3月末日
開催講座数	館内	17講座	4講座
	出張	2講座	調査対象外
	オンライン	15講座	
回答者/受講者数	758人/1,650人		67人

7月以降の再開となり多くの講座が中止せざるを得なかったが、34講座開講した。オンライン講座に力点を置き、8月に「今こそ聞きたい！感染症対策」と題して聖路加国際病院から坂本史衣先生に発信いただいたことを皮切りに、34講座中15講座をオンラインで実施し、多くの専門職の受講がありました。

(1) 講座内容はいかがでしたか？



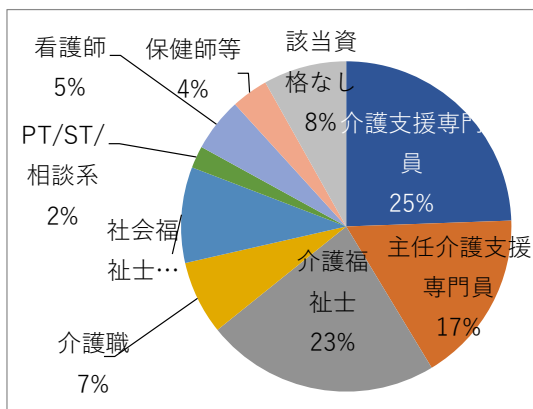
(2) 当研修で実施している感染症対策はいかがお感じですか？



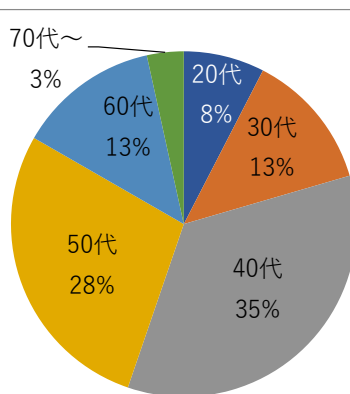
感染症対策についてのアンケートは、は12月以降の館内での開催講座につき実施した。定員が通常の半分とし、各種制約の中で実施したため調査対象人数は少なかったが、参加者にはほぼ安心して受講いただいた模様。

(3) 回答者の属性 (以下受付データによる受講者)

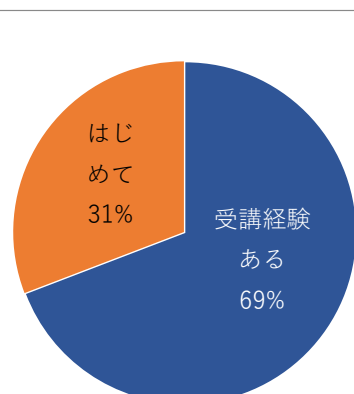
【受講者所持資格】



【受講者の年代】

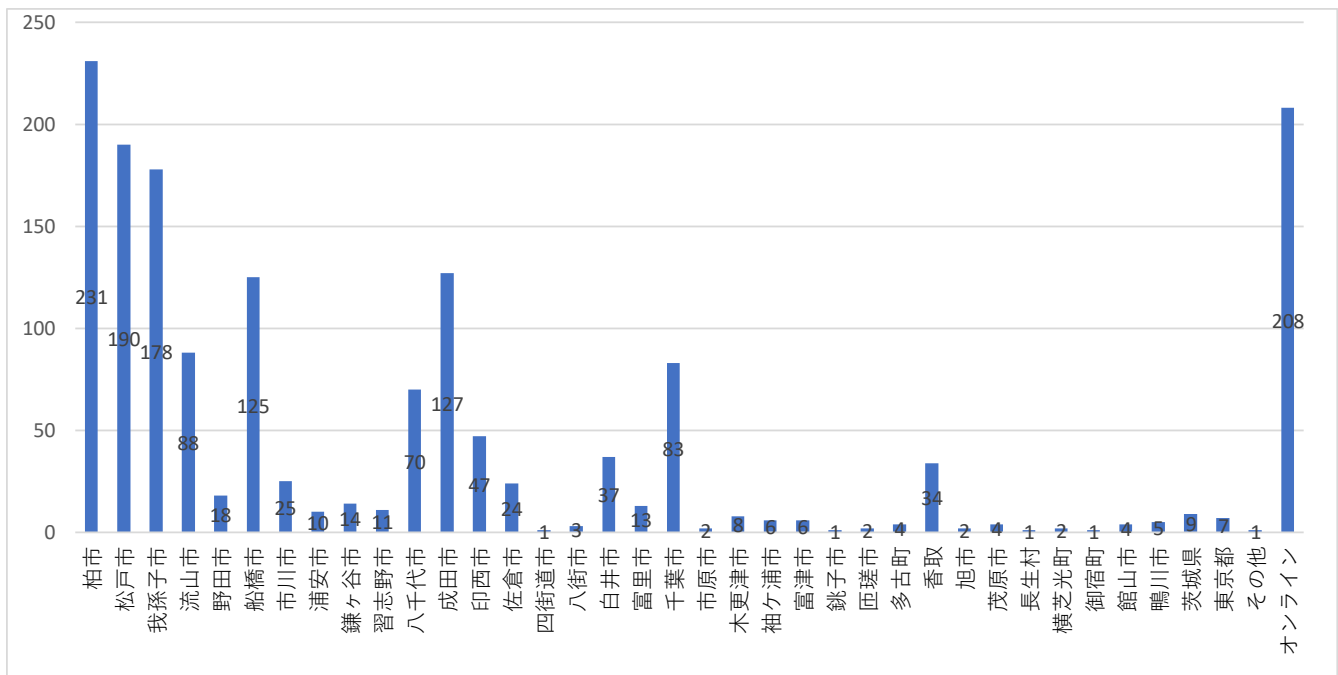


【オンライン受講歴】



職種別では介護支援専門員が最も多く、介護福祉士、社会福祉士、看護師、保健師、他各職種。年代別には40歳代、50歳代中心に20歳代から70歳代まで幅広い専門職の参加があった。オンライン講座の受講歴は初めての方が約3割であった。

【地域別受講者数】



東葛北部が多いものの、全県域で34市町村、他3都県からの参加があった。今回はオンライン講座が多く、地域が正確には特定できないケースも多いが、講座開催後1週間程度再配信しており、当日受講者が事業所等で伝達研修などに利用した方が多いと推測される。オンライン居所未確認と表示した上記グラフの受講者も幅広く県内各地で受講頂いたものと判断している。

(4)受講者からのコメント（オンライン講座はコメントが少なかった）

○介護現場におけるクレーム対応

7月2日

・あまりクレームを言われ慣れていないので、クレームを言われるとおどおどしてしまいました。今後は覚悟をもって冷静に聞くようにします。

○「できる」を「つなげる」自立支援

7月10日

・何回か研修を別の内容で受けていますが、こんなに自分の中にストンとおちたのは初めてです。この内容のような事業所なみに行うのは厳しいですが、できることはやってみようとおもいます。

・正直なところ、私自身も勤務先のショートステイも間違いだらけで利用者さんに申し訳ない気持ちになりました。逃げ出した事もあるけれど、ひとつずつやってみようと思います。やる気が出ました。

○家族間のコミュニケーションを高める関わり

7月28日

・先生の話が分かりやすく、知ってるようでわかっていない事だった。実践で役立ちそう。

認知症を通じて誰もが自分らしく生きることを考える

8月6日

・認知症地域支援推進員としてどのように活動していくか迷うことが多々、本日の学びで大変勇気つけられた。

・特養での医務室責任者で介護士さん達に認知症について講義しています。身近に感じて優しく接していけることを目指しています。自分が知りたかったことをわかりやすく説明していただいた。

・分かり易い言葉で話してくださり、とても勉強になった。今日来ることができなかった同僚にも伝えたいと思う。

診療に同行することが多く医師との関係に悩む事が多くあります。今日の講演で伝える必要性や薬の作用の報告等今後続けていこうと思います。

・その方と楽しむ事を心掛け支援しているが、今日はずっと深く人を知る努力と優しさが必要だと感じた。

○認知症の家族介護者のこころを支えるために

10月15日

本人、介護者両面の支援確認、具体的な対応方法や考え方について学び、実施事業の参考になった。

メモを取るのが大変でしたが、これからの仕事で活かせる事も多かったです。

○今こそ聞きたい！！感染症対策～新型コロナウイルス感染症を中心に～ 8月21日

・たくさん情報の中で、何が正しいかがはっきりしていなかったが、信頼できる先生のお話を伺えて、大変参考になりました。ありがとうございました。

・同じような内容でも話方が入ってくる量が全然違いました。実際に現場で対応されているとのことで具体的で柔軟な内容でした。Q&Aへの対応もとても良かったと思います。他のスタッフにも聞かせたかった。

・新型コロナの特徴が理解できた、きちっと対応すればむやみに恐れることはない。今後の活動の指針としたい。

○いまさら聞けないケアマネジメント 8月28日

・服部先生のお人柄が良くでており肩苦しくない講義でした。それでいて今後の展望など幅広い内容であった。

○介護技術 移動移乗・排泄・腰痛・褥瘡の理解 8月・9月・10月・12月

・訪問介護の為、人に聞くことができず、我流になりがちだった為、改めて基本を教わり思い出すことができた。

・知らないことも多くすぐに使えることが学べた。実技があり分かりやすかった。いろいろ体験できてよかった。

・明日から仕事にいかしていきたいと思った。座学研修は受けたが、ちゃんとしたものに参加したことがなかったので、特に陰部清掃がわかってよかった。忘れる前にしっかりやります。また参加したいと思う。

・シーツの敷き方など学んだ事が今では古い情報だという事もあるんだと思いました

・指示基底面の中に重心を落とすということも改めて確認できた。ズボンの後ろをつかんでも良いと言われ罪悪感がとれた。無理をしてはいけないということ確認できた。

○アルコールの関連障害が高齢者の心と体に与える影響 9月8日

難しいお話をかみ砕いて簡単な日常にある言葉で説明して下さった点が良かった。また臨床に基づいたお話は説得力がありました。依存を治療しても別の依存を作ってしまう説明が分かりやすかった。

○車いす・歩行器の選び方 10月20日

・歩行器の使い方についての助言の間違いに気付く事ができた

○認知症ケア実践 介護現場で役立つレクリエーション 11月17日

・いつものレクにとっても役に立つ内容で楽しかった。

・多方面なレクをたくさん教えていただきました。明日から実践します。

・デイサービスのレクで困っていたので全部使えるので嬉しかった。

○介護予防のための運動 11月25日

・自分がなんとなく行っていたことを先生にしっかり教えて頂き頭で理解できて自信につながった。今日教えていただいた事をしっかり活かしたい。

・利用者様にとって一番良い援助ができるようにと毎朝思いますが、つい自分にとって良いに変わってしまっている所もあったと思います。してあげていると思っているとおしつけになっていたかも。

○対人援助職のためのストレス対処法 12月4日

介護でも仕事の分野がグループ内で皆違ったので凝り固まっていた。自分たち(仲間)の考えと違うもの見方などが学べてよかった。できる事、わりきる事を事例によっては必要だと学べた。

○高齢者虐待防止 12月11日

・法律は難しく、弁護士の先生がわかりやすく説明してくださいました。

・事例がたくさんあった。知識だけではなかった。

○障害者から高齢者へ ～65歳の壁と8050問題を考える～ 1月22日

・8050問題や65歳の壁問題を考える際、まずは障害者の福祉制度についても十分理解をした上で臨まなければならないことを改めて感じた。

○フレイルの予防と改善のための栄養学 2月12日

・説明が具体的でわかりやすかった。 ・10食品群参考にさせていただきます。

○介護保険制度改正について～地域共生社会の実現～ 2月15日

・すごい身になる研修でした。

・制度改正についてわかりやすい説明でした。地域共生社会についても参考になりました。

・4月からの改定(介護保険)はホットな情報で大変勉強になった。

